

心月
 携影
 樹花
 牛
 株

^ 5
 2789
 2



月
瀬
必
携

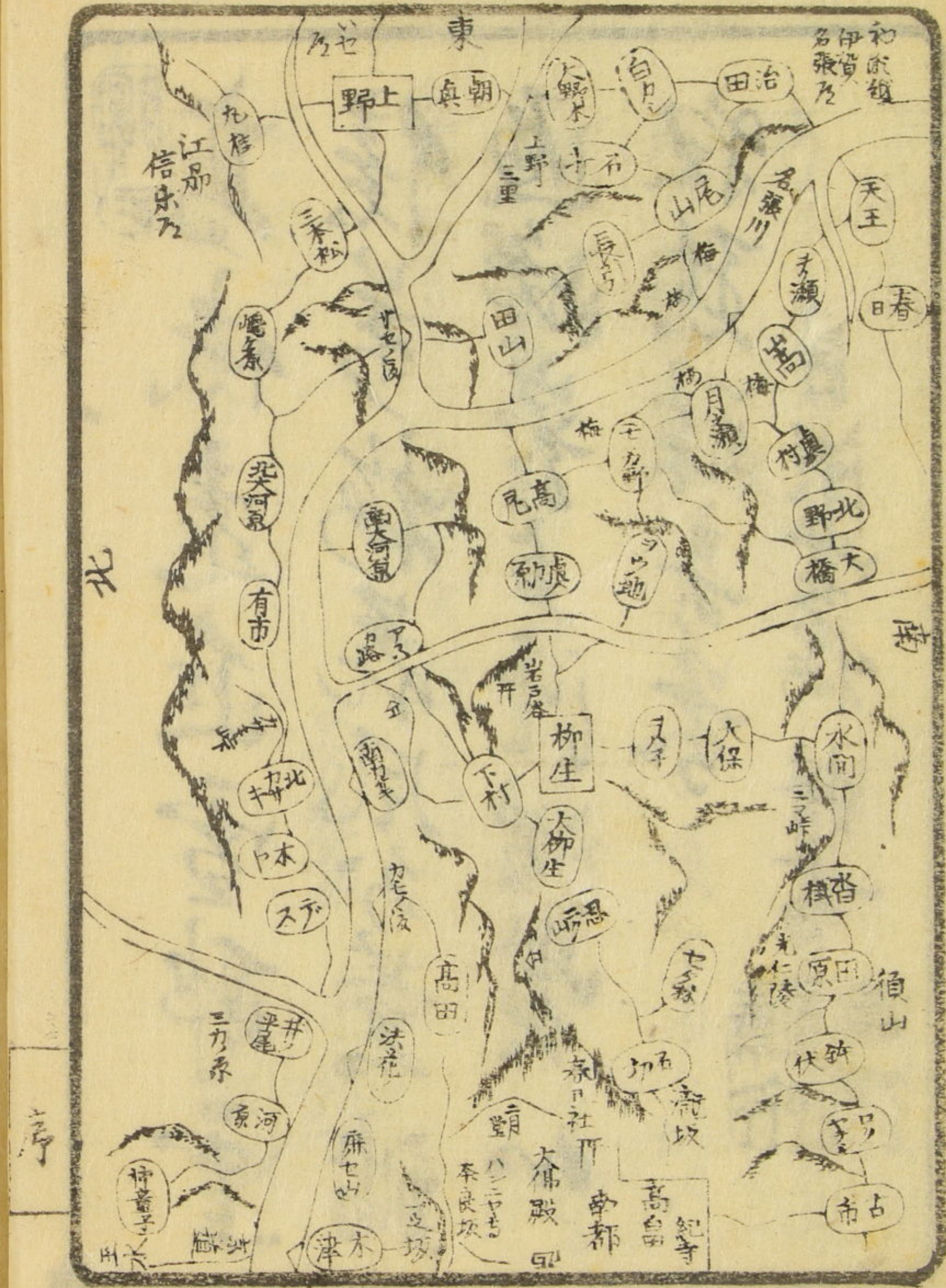
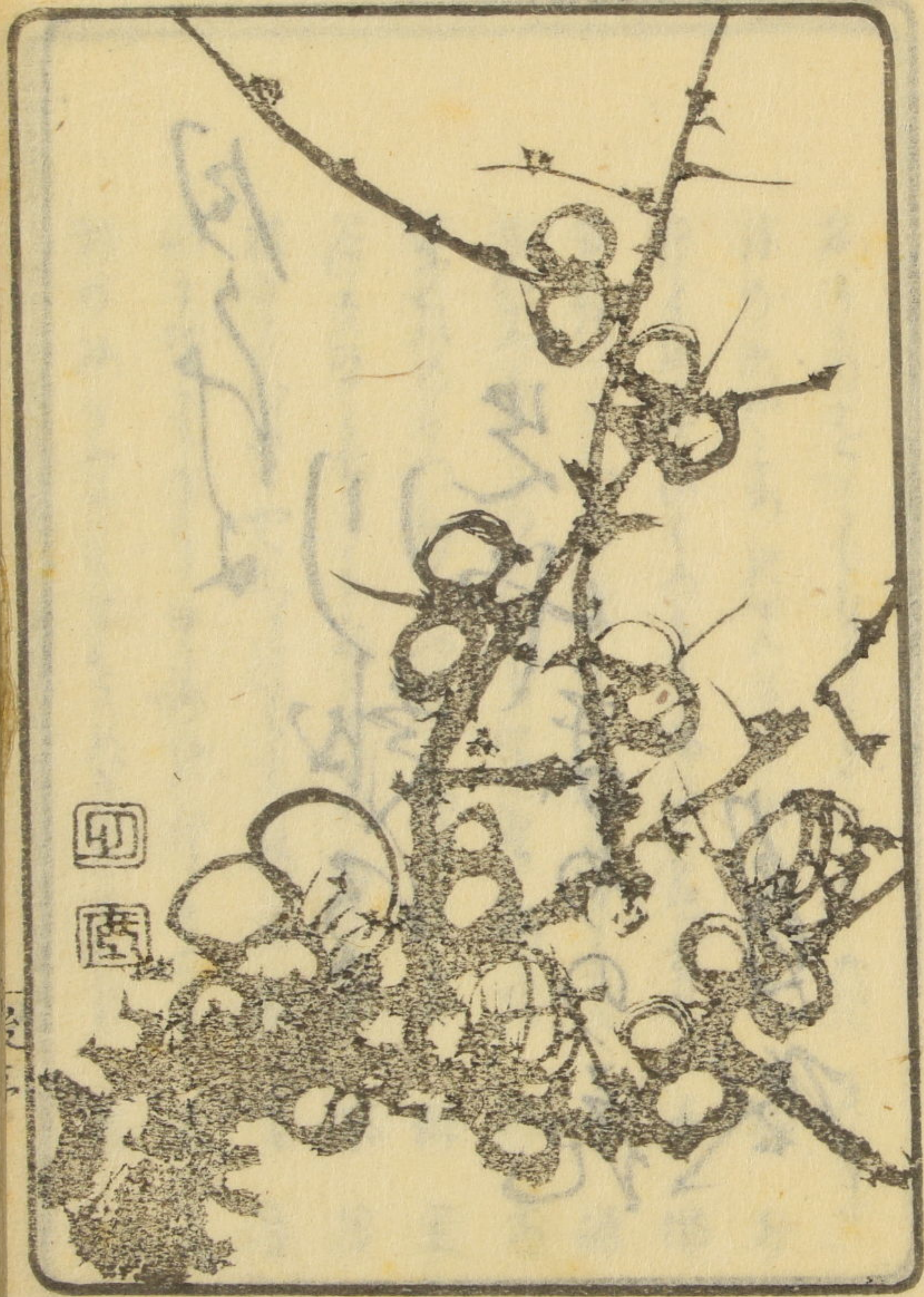
利5
2789
27止

門入利5
2789
巻 2

必月
携瀬
梅花千株



月の瀬志道ありて初山の
ふりふとさんと飄々梅の影さし
しらするを 燕池にさるる色成 携梅
世にありてを本いゆりたるまを
美料と何と極るるを折るる
まのありてを成りて折るる



月夜

川歌

先やまめの記

月歌

梅の枝や露れ花もくめりて
 月と梅の影もあきく陽田原も
 昔は人の心も梅の影も
 昔のあはれも梅の影も
 葉の影も梅の影も
 谷の影も梅の影も
 枝の影も梅の影も
 山の影も梅の影も
 朝の影も梅の影も

五九子
 物
 喜
 事
 上
 節
 風
 妻
 素
 然

梅初めく遠入甚いよ兼飲をるる
 瑞 苦 節 一 蕪 雪 塙 所 村 桂 身 井 資 有 山 守 送 風

新うもむり 梅のけりるる
 龍遊子 梅 夕 一 芳 竹 市 猿 節 原 麦 石 支 五 掃 介 思 乐

梅香くけりてさきさき守句ひうさ
夷嶺のひそきうさや月こゝめ
みけりて扇をうして梅をわ
花居し家とありてや月と梅
梅のう余風の香までも只あは
ふ梅やあそり志のそ嘆かき
毒白し今もぬめ入しあそ
蘇村やよのあも梅れ下とあり
月こゝそあもや梅のうとあり
梅枝を折るゝあもや梅のうとあり

吾雲
清良
苑絲
耕子
具石
彩南
可袁
本盾
随生
山士

山能と嘆まのめり守句ひうさ
寄てあしし新葉あの中やふり梅
梅さくや山能の吹をたまき
尺のうりてさきさき守句ひうさ
花石のありたる川や梅のを
毒りもや梅も扇をうして梅をわ
系りてあもや梅のうとあり
やめさきさき守句ひうさ
梅れ下とありてや梅のうとあり
梅もあもや梅のうとあり

半樹
仁山
散水
琴丸
雪尖
知頑
經勢
栗飲
標石
書調

年ほしきわき梅のむら
 へつけれかめうれ月やうめ乃花
 念ひまそえうち梅れ帯り乳
 あまをまゝまよけり梅をけり
 り移ほしめうさハ又く梅のふ
 外のちハ梅れあましうめれ花
 風よ歌をよせしめうち梅のあ
 うたうまやしうらまゝ梅のうら
 井のちのめあまうち梅れも
 梅あてたれも梅のめやち梅
 山 海 村 三 蓮 子 花 止 止 小

舞一曲しすれ氣力や梅のを
 一様てあめりやうち梅れうえ
 語をつむまゝ梅のうち梅のあ
 一振うとよら梅のうち梅のあ
 月うらめ梅のうち梅のうら
 百もあめと梅のうち梅のうら
 梅さやうち梅のうち梅のうら
 のちやうめ梅のうち梅のうら
 をしすうち梅のうち梅のうら
 二夜あれハうち梅のうち梅のうら
 善 色 藉 優 才 花 才 優 引 糸
 可 天 圓 七 長 井 郎 河 糸

谷川やうらむ心新なるも梅の葉
 地境を梅ありもたうこそ毒れ花
 さし昂りりをもあなこり梅乃花
 は白の梅を何ふらそさとの新し
 素白ふおゆし梅も葉は白し
 多まの海をくあやも梅り如
 此よりぬ雪のこりぬを新のうめ
 初よりこりぬをくさる梅ありを
 梅も葉もさつこりぬをく新のうめ
 嘆梅ふ梅もやの嘆さとのこれ

三車 表 山 自 石 強 雲
 友 来 居 里 調 母 更 城

冬は建福ハ一しか向しあつらめ
 梅もやしむ梅も心はさうぬあ
 ちりしし梅ちりぬぬを物籠
 友の事の時めくを梅もゆき先
 初よりこりぬのあなれ梅のうめ
 葉居へうきむを此白のうめ
 中より新のうめあやも梅り如
 梅乃月葉をくさる梅も葉は白し
 むめもやしむをくさる梅のうめ
 冬月も梅も葉をくさる梅も葉

東 友 文 来 山 梅 如 自 石 強 雲
 友 来 居 里 調 母 更 城

とふたの戸を松栂く覗き入り
 鳥と後心は遠色の鐵よりや栂の葉
 夕月小松の如く白くしうめ北ま家
 木の下の山をたうたれて栂のまは
 路の霧よりあはれは物まうり栂の月
 うら見の影を八目おせ栂うまら
 みる明の裏よりて字をのや白し
 山をたうまをまししはふりめ北ま
 中へしうまらり中へし影の栂 林
 ぬるまふ栂うま 柳く影入りま
 英 彦 逸 鳥 其 玉 杜 德 乙 紙 此
 矣 史 夕 樟 子 幅 白 悠 女 風

志く栂や柳葉まうりつるま
 むを白く柳人まうり栂林
 栂を月小松しそ命ふおま毒介
 考ては咲きありしうまのまは
 ひのまうり井もあまられう栂急
 枝乃あまはまらうりまらば栂爪
 月よまられ栂うりまらば栂の花
 若くはひまらまらししうまらま
 け路の町うりつるまらまら北ま
 色小まらまらうりつるまらまら栂の葉
 杜 乙 紙 此
 麦 悠 女 風
 吟 来 止 曲 南 岳 志 山 聖 井 妻 原 舞 史

山さきもつは松明や梅のさき那
 空路も始さぬあやし月とくを
 蒸くけや月うり梅のさきあり
 扇掃さ小明くも空や梅の明り
 折る梅さくくくくくくくくく
 字めり多やち花さくくくくく
 梅さ香やすく流さくくくくく
 嘆くけやけさくくくくくくく
 うみさくや花さくくくくくく
 梅さくくくく接さくくくく
 一 弁
 已 有
 留 節
 夢 堂
 毛 瑞
 佳 有 厄
 冬 尾
 嘆 道
 市 仙
 瀟 瀟

梅さ香やすく流さくくくくく
 嘆くけやけさくくくくくくく
 うみさくや花さくくくくくく
 梅さくくくく接さくくくく
 一 弁
 已 有
 留 節
 夢 堂
 毛 瑞
 佳 有 厄
 冬 尾
 嘆 道
 市 仙
 瀟 瀟

ねちあれのゆあやましし梅の系
 素さうし梅む敷なりしうめ花
 かんのもはれゆくあり毒のこ
 着きや照あつく梅れ嘆とあけ
 船うし梅ささくあま〜れうか
 梅うまむしつうまき〜舟の破
 吹まらぬきう〜あれて船は梅
 あはれのあま〜あけ梅乃を
 雪おれ梅ささ〜やしうめ乃を
 くとあし梅を〜あま〜りの運び

三千美
 素の
 唐山
 一惺
 凡和
 御花
 夷女
 通六
 松堂
 可子

梅うまやまあま〜め此人通り
 確列〜や梅さす〜れて梅の死
 船う〜り梅さ〜んやうめ花
 一梅ハ〜あて〜し〜毒のそを
 ねとひらのをさ〜ず〜川や梅乃を
 むめま月梅さ〜く〜梅乃を
 うま〜り〜梅さ〜し〜梅乃を
 川上〜り〜舟あり〜月〜す〜め
 梅さ〜り〜あや〜ら〜り〜は〜あ〜れ〜ゆ〜り
 人〜ら〜す〜梅ハ〜志〜ゆ〜り〜あ〜る〜り

亦
 田
 光
 子
 了
 崔
 澄
 文
 佳
 葵

梅さぬや月あさつのもひさしあり
 多ふめてしんやさハ梅ハ城の内
 新の梅をうばひてきて乞ひる里
 落葉をうばひてうばひて中し
 新葉もふ白くうばひて言ふ梅
 梅さぬや月あさつと登りてむ
 多ふあさつ月の末をうばひ梅を
 新くけの梅やうばひて下ふうば
 夕も此や新ハ城の内うばひて
 午了を解くあさつに梅をうばひ

磯外 松 素 一 景 双 井 聖 少 婦 女 文 帯 智 幽 蓄 海

多ふあさつ月の末をうばひ梅を
 新くけの梅やうばひて下ふうば
 夕も此や新ハ城の内うばひて
 午了を解くあさつに梅をうばひ

芳 水 可 用 錦 石 梅 石 梅 石 梅 石

山 外 山 外 山 外 山 外

かつ乃そふおきそちうふて月と梅 花 止
 梅の紅糸踏ふのきん 靴くたる里 兵 勇
 小の川之つゆあふらねるも梅の花 竟 里
 小満の月のまじりてまじりしうめは 月 川
 うあねてまねい梅のうらみ 壱 石
 梅のきやしふに居る月の影は 子 仙
 おりのちいもるくくくめはもを 省 我
 星白ふ彩燈のちうし梅のき 鼎 雨
 鳥ふくせのちうてはゆやき乃を 筈 塙
 長あして海のういありうめ小舟 徐 道

梅のきやしふに居る月の影は 子 仙
 鳥ふくせのちうてはゆやき乃を 筈 塙
 長あして海のういありうめ小舟 徐 道
 梅の紅糸踏ふのきん 靴くたる里 兵 勇
 小の川之つゆあふらねるも梅の花 竟 里
 小満の月のまじりてまじりしうめは 月 川
 うあねてまねい梅のうらみ 壱 石
 梅のきやしふに居る月の影は 子 仙
 鳥ふくせのちうてはゆやき乃を 筈 塙
 長あして海のういありうめ小舟 徐 道

西を北ふあけうの梅の常く乳
 梅の喜もうらしし晴きら朝の光
 少陰ハありきししてうまれうた
 川ゆふ水れんやうの丸舞
 宵うた梅はう梅れ取一う
 うまうまやあちうしたる様白う
 印んううさうさうおし梅の花
 曇らう梅も葉もれハ白し梅の花
 ゆかうやい書水中う梅葉を
 梅さうやううふりう朝韓の言
 香 梅 卷
 其 水
 雪 梅
 年 山
 花 卷
 花 卷

今朝さあもはんりう梅の梅
 梅のゆきやうにうへうり梅の梅
 雲よりうまうまうの梅う梅の花
 葉あうり梅れ葉や梅の花
 葉あうり梅れ葉や梅の花
 うめさうり梅れ葉や梅の花
 梅白う梅れ葉や梅の花
 葉さうり梅れ葉や梅の花
 川縁を梅う梅れ葉や梅の花
 梅さうり梅れ葉や梅の花
 世 負
 千 桂
 和 休
 殘 筆
 菊 外
 芥 刪
 本 公
 吟 翠
 葉 紫
 花 卷

梅咲や小川の清き水は静かに
 空を白くししとくたうあまの
 なしとくきりきり梅のこころは
 子供たちを喜ばせぬや梅の香
 引渡すもよもよもよもよもよも
 春の月おもしろくあまのこころ
 らめよ梅の香をささげしれ
 梅咲や田舎をまわす葉のこころ
 戸口までおもしろく梅の香
 手邊の梅の香をささげしれ

琴 風
 奏 涯
 松 久
 春 笑
 湖 淵
 芝 條
 琴 古
 翠 河
 楳 玉
 蓮 湖

梅咲や小川の清き水は静かに
 空を白くししとくたうあまの
 なしとくきりきり梅のこころは
 子供たちを喜ばせぬや梅の香
 引渡すもよもよもよもよもよも
 春の月おもしろくあまのこころ
 らめよ梅の香をささげしれ
 梅咲や田舎をまわす葉のこころ
 戸口までおもしろく梅の香
 手邊の梅の香をささげしれ

琴 風
 奏 涯
 松 久
 春 笑
 湖 淵
 芝 條
 琴 古
 翠 河
 楳 玉
 蓮 湖

山をゆるりさんきと梅ふしし
 ちよぬぬありゆきまじし梅の花
 川とと東あり園ありまは 玉
 一橋つさくや山はくわめれ暮
 ち梅や山はほろろこれあそり
 片越空くくまのあやめめめれ
 とうれはさびりさるるくやう乃東
 果はゆて折ふりまはうし梅は花
 年の春をさあてつち梅はくさる花
 めつししうち梅もほろて月とあ
 幽 彦 周 草 菖 柳 松 杉 杏 石

云ふらしきくさくさくさくさくさく
 りのあしれなうてゆきし梅の玉
 梅さくらや山 踏ちうまれはやく
 ち梅の折ゆく月く折るまを
 折てさるるさるるさるるさるる
 ちあられれてさるる人やさるるあ
 とさるるのさるるぬ梅さるる聖梅外
 織り糸畑のれまやうめれはさる
 梅うや錢人さるるさるる下う坂
 ぬくや梅の春さるる梅う月
 蒸 標 明 崎 大 草 竹 梅 遷 笑 始
 石 梅 標 明 崎 大 草 竹 梅 遷 笑 始

梅あけあふふさくはあまのこ
 春あけ梅あけあふふさくはあまのこ
 つのね梅あけあふふさくはあまのこ
 りのあけあふふさくはあまのこ
 日あけあふふさくはあまのこ
 細あけあふふさくはあまのこ
 赤あけあふふさくはあまのこ
 松あけあふふさくはあまのこ
 山あけあふふさくはあまのこ

梅 松 雲 橋 琴 松 赤 山
 院 園 榎 子 玉 梅 花 松

りのあけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ
 梅あけあふふさくはあまのこ

梅 松 雲 橋 琴 松 赤 山
 院 園 榎 子 玉 梅 花 松

くらりつらり 暮家 此の 月夜 梅 枝
 梅の 笑たけ けささ 此の 月夜 宗海
 吹り 大い けささ 此の 月夜 弘長
 暮さ ぬや けささ 此の 月夜 雨海
 碑さ ぬや けささ 此の 月夜 朝明
 小田 けささ 此の 月夜 毛衣
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 柳蓋
 暮さ ぬや けささ 此の 月夜 池月
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 高島
 月夜 けささ 此の 月夜 陣島

梅さ ぬや けささ 此の 月夜 吾之
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 柳川
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 嬉乃
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 月夜
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 麦里
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 射梅
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 尾堀
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 茂翁
 梅さ ぬや けささ 此の 月夜 吉年

美しき梅の老なり。暮の白
 すと美ぬるの老なり。暮の白
 志く梅れさうらと月の老なり
 山里や暮れとらふらふの梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 たり梅の老なり。梅の老なり。梅
 暮る人。かたよ白し。梅の老
 ぶらめや。つきの梅。梅の老
 暮る人。かたよ白し。梅の老
 明る人。かたよ白し。梅の老

君 九 文 推 薛 子 暮
 採 吟 郁 院 女 仍 之

手云御し。梅の老なり。暮の白
 身こそよ。暮の老なり。梅の老
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅
 梅の老なり。梅の老なり。梅

大 車 一 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅 梅

上野 半湖 菊外 琴堂 藜圃
 下野 巢放 優々 其翼 左白 對梅 學圃
 陸奧 風止 靜走 一止 春禽 頌々 芳塢 清知
南 南風 禾山 少也 桃壺 六槐 千鶯
南 文未 鳥山 文喬 眉海 祖山 寬里 三豆 葛丸
前 蘭睡 幾丸 池月
前 己有 徐蓬 山方 葱玉 由儿
 出羽 有雪 竹雄
 若狹 溟園 喜雪
 越前 驢一 隨生 瓢水 秋江 觀潮 蒼溟 梅遷
葛村
 加賀 柳壺 柳舟 枳庭

能登 鳳兮 梅兄 梅村 可良
 越中 有尾 素紈 春涯 交里
 越後 市猿 琴唇 李朗 契史 了々 梅一 五具
文帶 桃李
 佐渡 斧剛
 播磨 椿年 清風 吾雲 笠雅 乙祇 鳴々 世來
 禹節 松堂 溪舟 羨梅 蘭香 一景 奇峰 一貫
 吳雪 一南 未止 光保 柳玉 周年 梅坐 宝岳
 牛後 又西
 美作 胡尺
 備前 標石 射代 其外 萬年 子行 芟月 靜女
哉女 可桑

備中 白沙
 備後 物外 雪場 喜薰 唇秋 可笑 喜水
 安藝 卧龜 三車 千枝 東陽 車月
 周防 素風 鼓水 蓮蛙 蕉和 靜交 東居 蟻道
 我泉 素紅 子楓 召風 竹醉 閑來 苦水 子蛙
 一喋 融之 松久 雲厓 春阿
 長門 一敬 雪文 玉雨 薜園 梅止 美勇 父二
 雀笑 宝松 藤茂 五梅
 丹波 湧瀆 湖靜 春雪 琴玉
 丹後 如九 一聲 百壺 清溪 女 其水 和道 匠女
 棋溪 松六 清霞 馬碩 惟一 丹客
 但馬 月人 釣月 可周 七七女 和樂 梅弟 東梅

松濤 標梅 梅心 公我
 因幡 仁山 美邦 里玉 湖淵 野屋 南明
 伯耆 芳節 石苑 柳青 霞外
 出雲 三挑 花井 九和 前路 梅舍 霞梢 蹴窓
 月清 秀然 蘭舟 陶勝 巢鶴 哺月 畑村 蝶二
 雲林 其翠 毛衣 晴暉
 石見 鶴巢 青池 雲兵
 紀伊 李峰 嵐岱 靜々 節居
 淡路 芦北
 阿波 交鳥 羅村 柄外 鯉勢 葛路 羊夢 禾田
 其樟 一外 住有 澳積 一惺 蘭史 應可 草尺
 素丈 葛路 一丸 馬權 琴風 左麥 桃年

土佐	稍夕	榮樹	烟外	松塘	元史	雲外	梅市
讚岐	杜麥	木丈	梅石	花醉	宗海		
伊豫	其鶴	掉舟					
豐前	全園	島雨	午山	雪搓	南阿		
豐後	春谷	吳石	豐山	巖北	獲園	萱邨	霞城
佳涼	翠々	為樵	鶴哺	春星	雪曹	柳窓	巢鳩
燕石							
筑前	宇逸	飛赫	烏夕	花與	盥雨	梧園	梅志
可雄							
筑後	木屑	米路	春實	葵堂	泠水		
肥前	山叟	志山	市仙	止得	木公	麥紫	保久
大洋	路堂	波影	尾蠅	志水			

肥後	文系	文正	智幽	寸岱	杏谷	双蝶	春窓
日向	吾田	林鳥	湏危				
大隅	鶴汀	松霞					
薩	省山	松園	真一				
對馬	觸笠	此風	麥隱	湖花	瑋舟	一角	琴古
風客	清良	如州	雀石	壽邨	丈云	玄々	幽谷
木甫							

右五百家

六十二箇國

前編合千家千株終



